

取扱説明書

正しい施工をしていただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
施工のあと、この取扱説明書を大切に保存してください。



CATV用 F 型 アルミラミネートケーブル

F-5FH(1) コネクタ

【工具の種類】

芯線圧着工具 (FC-1 又は MC-26)、スパナ (2 面幅が 12 及び 14 のもの)
その他に、挿入工具 (工具-125) の使用をお勧めします。

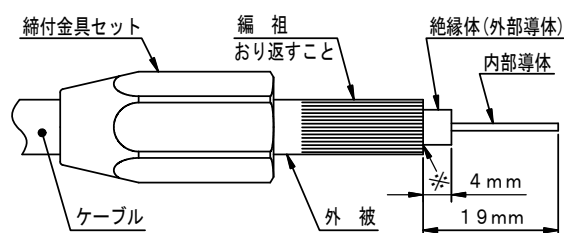
【結線方法】

1. ケーブルの切出し

- ① 外被及び外部導体を先端から 19 mm で切り離す。
- ② 締付金具セットをケーブルに差し込む。
- ③ 絶縁体を回転させ、絶縁体と外部導体アルミラミネート)の間に隙間をもうけて補強スリーブを挿入しやすくする。
- ④ 絶縁体を 4 mm 残して切り離す。

! 注意事項

※印部の絶縁体に傷を付けない様に充分注意すること。

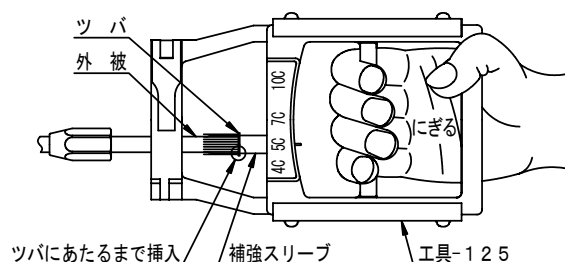


2. 補強スリーブセットの挿入

補強スリーブのツバがケーブルの外被にあたるまで挿入すること。この際、右図のように弊社挿入工具 (工具-125) を使用すると、挿入作業が容易に行なえる。

! 注意事項

補強スリーブセットを挿入する際には、外部導体が押し込まれないようにすること。

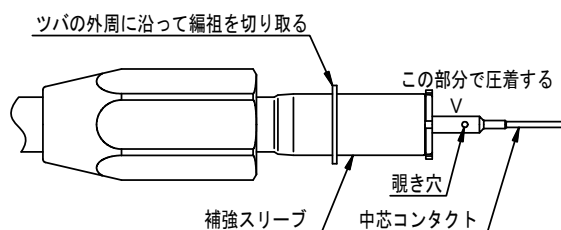


3. 中芯コンタクトの圧着

- ① 中芯コンタクトの覗き穴から、内部導体が見えることを確認する。
- ② できるだけ補強スリーブの近く(V 部)で、中芯コンタクトを弊社芯線圧着工具 (FC-1 又は MC-26) の **2.3 表示部** で圧着する。
- ③ 編組をツバの外径に合わせて切り離す。(3 重シールド)

! 注意事項

中芯コンタクトの圧着には、必ず弊社専用工具 (FC-1 又は MC-26) を使用すること。



4. シェルセットへの締め付け

- ① ケーブル挿入済の補強スリーブセットをシェルセットに挿入する。
- ② 締付金具セットの端面と、シェルセットの H カット部の端面が重なるまで締め込む。この際の締め付けトルクは、約 $4.9\text{N}\cdot\text{cm}$ ($50\text{kgf}\cdot\text{cm}$)。

